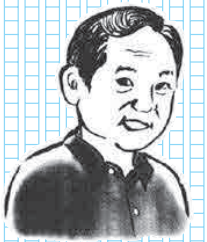

町長エッセイ

台風の直撃を案じながら迎えた第７１回七夕まつりも、７月２７・２８日に予定通り開催することができました。

８月１０日は恒例の七夕まつり竹飾りコンクールの表彰式でした。和紙を活かした個人賞の部の力作には金賞・銀賞・銅賞が、団体での飾りには町内賞として１等～３等まで、それぞれに賞状と賞金が贈られました。

８月１７日は第２回「ＯＧＡＷＡ盆ノ市」が栃本親水公園を会場に賑やかに行われました。カウントダウンのなかで点灯式を行い、櫓の提灯が一斉に点灯すると盆踊りの始まりです。浴衣姿の人が男女問わずに昨年より多くなったと感じました。そして今年のメインは、盆ノ市にふさわしい灯籠流しです。子どもたちが、ワークショップで和紙に思い思いの絵や文字を描き、それを小川和紙の研修生が指導し、一緒に灯籠に仕上げました。槻川の堰下に時を超えて、灯籠流しが戻り、灯籠は幻想的な光を川面に映しながら、ゆっくりと流れました。

松本恒夫